

No.240  
2019  
6/5



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索

## 劇団文化座公演 鑑賞に行こう!! アニメの海

— これは、ある家族の物語 —

新しく日本の元号が変わって、昭和という時代はまたひとつ過去の時空へ遠のいていった。

昭和……  
大きな敗戦を経験し、復興を果たした日本人は、ついに高度経済成長期を迎えて、めまぐるしく変貌した。この作品は、そんな繁栄と華やきの陰で、じくじくと己れの肉体を蝕まれ、生命さえも脅かされた人々の声なき声を描いていく。九州……

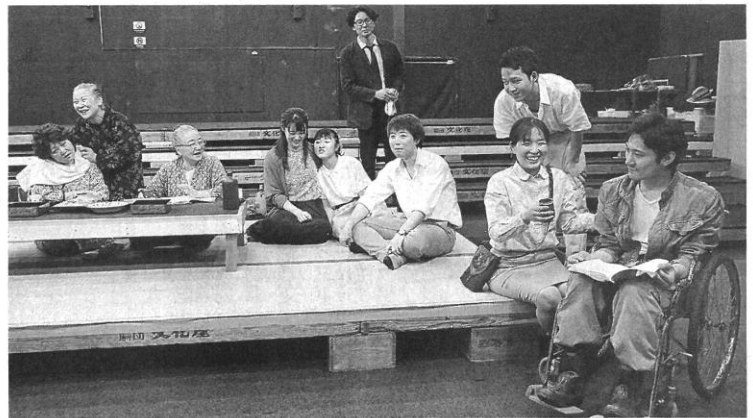
美しい自然の恩寵につつまれて生きる不知火海の人々は、四季の移ろいを信じるように、身に降りかかる貧しさや、不幸の兆しさえ疑うことを知らず、何もかも受け入れる優しさの中で生きていた。当時、一介の主婦であった石牟礼道子は、この人々が遭遇している数々の不思議の中に、のびきならぬ気配を感じ取り、克明に記録を重ね、やがて水俣病患者となった彼らに寄り添う日々を送り続けた。幼い時から、水辺に生きる小動物や、野辺の名もなき花にさえ心を映す気性の彼女には、肉体を冒された者たちや、追いつめられた家族たちとも語りあえるという術があった。……どんな人々でも、魂の奥底に分け入って語りあえるという術が。

遠い日の、この地方の先祖たちの蜂起(天草・島原の乱)を記憶に持つ彼女は、無垢な人々の見えない敵が、この地で優勢を誇っていた大企業であることを感じ取り、地元の雑誌などに切々と魂の告白を続けていった。のちに「苦海浄土」全編を上梓して日本文学史上希有な地位を確立し、世界的な作家となっていた石牟礼道子の若き日の姿と、海辺の民との魂(アニメ)の交流を描く。

## 水俣病の現実 舞台化

6月5日付 東京新聞

石牟礼道子さん「苦海浄土」原作



舞台「アニメの海」の稽古をする出演者ら＝東京都北区の劇団文化座で

作家石牟礼道子さんが水俣病の現実を描いた「苦海浄土―わが水俣病―」をもとに舞台化した「アニメの海」(脚本・杉浦久幸、演出・栗山民也)を、劇団文化座(東京都北区)が十三日から六本木俳優座劇場で公演する。二十三日まで。(橋本節夫)

13日から六本木で

劇団文化座「アニメの海」

「命の尊厳や大切さ 見つめ直すきっかけに」

原発問題や沖縄の基地問題ともどこか重なってみえてくる。劇団代表の佐々木愛さんは「一人一人の人間の命の尊厳や大切さを改めて見つめ直すきっかけにしてほしい」と話している。アニメとは、ラテン語で魂の意味。「アニメの海」は、美しく豊かな不知火海と、その海で暮らす漁師家族を描いた物語だ。原因がわからないまま次第に身体がむしばまれ動けなくなっていく患者蓮田登美。やがてチッソ水俣工場の排水が海を汚染し、その海でとれた魚介を食べ続け、たことが原因とわかるが、登美は自分が水俣病であることが人に知られると、家族にまで迷惑がかかるからと病気を隠そうとする。……当時、水俣に住む一人の主婦だった若き日の石牟礼道子も石崎君子の名で物語に登場する。

石牟礼道子『苦海浄土』より

Michiko Ishimure KUKAI JYŪDO

脚本:杉浦久幸  
演出:栗山民也

アニメの海

ANIMA NO UMI

劇団文化座公演153

文化座

BUNKA ZA

2019年6月13日(木)~23日(日)

六本木俳優座劇場

【企画会社】劇団文化座 TEL:03-3828-2216(月~土 10:30~17:30) E-MAIL: info@bunkaza.com

	6月	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00開演			○	★	○	○	○		○	○	○	○
19:00開演		○					○	○				

※開場は開演の30分前 ★15日(土)公演終了後アフタートークあり

